

第6回宮沢賢治学会イーハトーブセンター功労賞

《宮沢賢治学会イーハトーブセンター功労賞》

宮沢賢治に関わるSPレコードの復刻録音をCD5枚に収録し、未詳だった楽曲のモデルを発掘し、ブログも活用しながら、賢治が愛好した音楽を紹介してきた活動に対して。

佐々木 孝夫 様

選考経過およびその理由について

宮沢賢治学会イーハトーブセンター
賞選考委員長 大沢 正善

選考対象は6件。1件が二次選考に残り、1件がイーハトーブ賞から移動し、2件のうち1件が奨励賞に選出された。

佐々木孝夫氏は、仙台市で2006年からジャズバーを経営しながらSPレコードを収集してきた。2018年に店は閉じたが、2017年から2019年まで、賢治に関わるSPレコードの復刻録音を収録したCD5枚72曲を制作した。萩谷由喜子『宮沢賢治の聴いたクラシック』（2013、2枚16曲）や、佐藤泰平『宮沢賢治と音楽』（2018、7枚32曲）と比べても充実し、「セロ弾きのゴーシュ」中の「愉快的馬車屋」のモデルとみられる楽曲も発掘した。2021年3月には賢治が作詞あるいは作曲した歌や、「ポランの広場」に登場する楽曲を地元のミュージシャンが演奏・歌唱したCDを加えた。2019年1月からブログも始め、賢治に関わる音楽情報を発信している。賢治が愛好した楽曲を発掘しながら紹介してきた活動は宮沢賢治学会イーハトーブセンター功労賞にふさわしい。